

れいわ ねんど かながわけんしょうがいしゃじりつしえんきょうぎかい だい かいけんしゅうきかくぶかい けっかがいよう
令和5年度 神奈川県障害者自立支援協議会 第2回研修企画部会 結果概要

- 1 日時 令和6年3月8日（金） 10時～11時45分
- 2 開催方法 オンライン（Zoom）開催
- 3 出席者 菊本座長、大野委員、後藤委員、佐藤委員、青山委員、八重樫委員
 （吉田副座長からは事前に意見を聴取。）

4 内容

(1) 相談支援従事者研修について

ア 令和5年度の開催状況について (【別紙1】より一部抜粋)

研修名	開催地域	修了者数(人)	合計(人)	
初任者	県域	177	378	852
	横浜市	134		
	川崎市	67		
現任	県域	175	430	852
	横浜市	187		
	川崎市	68		
主任	県全域	44	44	

○県域の実施状況

新型コロナウイルス感染症のまん延防止の観点から、受講者が分散できるよ

う、通常^{つうじょう} 2 コースの実施^{じっし}のところ、3 コースに実施回数^{じっしかいすう}を増や^ふして初任者^{しょにんしゃ}

研修^{けんしゅう}と現任研修^{げんにんけんしゅう}を実施^{じっし}した。来年度^{らいねんど}からは、通常^{つうじょう}の開催回数^{かいさいかいすう}に戻^{もど}し、2 コー

スで研修^{けんしゅう}を実施^{じっし}していく予定^{よてい}。

また、研修^{けんしゅう}を運営^{うんえい}する中で、講師側^{なか}の本研修^{こうしがわ}に対する理解^{ほんけんしゅう}・認識^{たい}の部分^{りかい}に

差^さが生^{しょう}じてしまい、グループワークの助言内容^{じょげんないようなど}等^{えんしゅうこうし}が、演習講師^{えんしゅうこうし}によってばら

つき^{しょう}が生^{しょう}じてしまっているところに課題^{かだい}を感じ^{かん}ている。そのため、講師側^{こうしがわ}が同

じ認識^{にんしき}・理解^{りかい}を持って研修^{けんしゅう}に臨^{のぞ}めるよう、研修^{けんしゅう}や、説明会^{せつめいかい}等^{など}を引き続^ひき開催^{つづ}

し、講師^{こうし}が研修構造^{けんしゅうこうぞう}をしっかりと理解^{りかい}し、目指^{めざ}していくべき方向性^{ほうこうせい}の共通^{きょうつう}

認識^{にんしき}が持^もてるような研修会^{けんしゅうかい}を開催^{かいさい}できたらと考^{かんが}えている。

インターバル実習^{じっしゅう}については、地域^{ちいき}の基幹相談支援センター^{きかんそうだんしえん}も実習生^{じっしゅうせい}の受

け入れ^いにだいぶ慣^なれてきているものの、受講人数^{じゅこうにんずう}が多い地域^{おお}では受け入れ^{ちいき}の

負担^{ふたん}が大きいという問題^{おお}が出^{もんだい}ているが、基幹相談支援センター^{きかんそうだんしえん}だけでなく、

主任相談支援専門員^{しゅにんそうだんしえんせんもんいん}も実習^{じっしゅう}の受け入れて^ういる報告^{ほうこく}もあるため、引^ひき続^{つづ}き、主任

相談支援専門員^{そうだんしえんせんもんいん}も基幹相談支援センター^{きかんそうだんしえん}と連動^{れんどう}しながら人材育成^{じんざいいくせい}を行^{おこな}っていく

体制^{たいせい}を構築^{こうちく}できたらと考^{かんが}えている。その中^{なか}で、県域^{けんいき}の研修^{けんしゅう}の事務局^{じむきょく}を担^{にな}って

いるKCNとしては、スーパービジョン^さについても差^さが出^でないようにしていく

ため、今後^{こんご}、インターバル実習^{じっしゅう}の受け入れ^うのマニュアル^{きくせい}のようなものを作成^{さくせい}し

ていく必要性^{ひつようせい}を感じ^{かん}ており、まずは他県^{たけん}からの情報^{じょうほう}を収^{しゅう}集^{しゅう}していきたいと

考^{かんが}えている。

よこはまし じっしじょうきょう
○横浜市の実施状況

これまで、^{しんがた}新型コロナウイルス^{かんせんしやう}感染症の^{えいきやう}影響で、^{じゆこうにんずう}受講人数を減らしてきた
状況であったが、減らしていた部分を取り返していくことを目標として、
^{げんにんけんしゆう}現任研修の^{ていいん}定員を大幅に^{おほはば}超えた実施となった。しかしながら、^{じゆこうけつてい}受講決定したと
しても、^えやむを得ない^{じじやう}事情で^{じゆこう}受講を^{ちゆうだん}中断されることや、^{じたい}辞退される方が^{ほう}多数お
り、^{ほけつ}補欠の^く繰り上げ^あ受講が^{じゆこう}10名以上お
り、^{めいじやう}10名以上お
り、^{じたいしや}辞退者への^{たいおう}対応について^{たへんくりよ}多変苦慮し
た。

また、^{じゆこう}受講の^{もう}申し込みについても、^こ申込^{もうしこみきげん}期限を^す過ぎてからの^{じゆこう}受講の^か可否^{かん}に関
する^{そうだん}相談があり、^{じゆこうたいしやうしや}受講対象者への^{しゆうちほうほう}周知方法について^{かだい}課題^{かん}を感じている。

^{こうし}講師の^{ようせい}養成に関して、^{こうしむ}講師向けの^{じぜんけんしゆう}事前研修を^{よこはまし}横浜市としては、^{じっし}実施している
ものの、^{こうし}どこまで^{けんしゆうないやう}講師が^{りかい}研修内容を^{ふとうめい}理解しているのかが^{ふとうめい}不透明なため、^{よりよ}よりよ
い^{けんしゆう}研修を^{じっし}実施していくためにも、^{じぜんけんしゆう}事前研修の内容を^{ないやう}ブラッシュアップし、
^{くふう}工夫して^{じっし}実施していきたい。

かわさきし じっしじょうきょう
○川崎市の実施状況

^{しんがた}新型コロナウイルス^{かんせんしやう}感染症の^{えいきやう}影響から、^{ぼしゆうにんずう}募集人数を大幅に減らして実施し
てきたが、^{こんねんど}今年度より、^{すこ}少しずつ^{にんずう}人数を増やし、^{らいねんど}来年度は^{じゆうらいとお}従来通りの^{ぼしゆう}募集
^{にんずう}人数で^{じっし}実施したいと^{かんが}考えている。

また、^{かわさきし}川崎市においても^{けんしゆう}研修の^{とちゆう}途中での^{じたいしや}辞退者がおり、^{ほこうなど}どこまで^{ほこうなど}補講等^{きゆうさい}で
^{きゆうさい}救済をしていくのかということに^{かだい}課題^{かん}を感じている。^{こんねんど}今年度は^{ほこうなど}補講等の^{きゆうさい}救済
^{そち}措置は^{おこな}行わなかったが、^{じねんどいこう}次年度以降の^{かいさい}開催については^{けんどう}検討していきたい。

インターバル^{じっしゅう}実習^{しゅう}については、川崎市^{かわさきし}は市内^{しな}の3か所^{しょ}の基幹相談支援セン^{きかんそうだんしえん}ターで受け入れ^{うけいれ}を行っているが、通常業務^{つうじょうぎょうむ}に加えた実習生^{じっしゅうせい}の受け入れ^{うけいれ}について負担^{ふたん}が大きくなっているため、主任相談支援専門員^{しゅにんそうだんしえんせんもんいん}や、川崎市独自の相談^{かわさきしどくじ}支援リーダー^{しえん}も含めた受け入れ先^{ふく}の調整^うや、受け入れ方法^いの工夫^{さき}等を検討^{ちようせい}していきたく^うと考^いえている。

イ 令和6年度^{れいわ ねんど}の開催^{かいさい}予定^{よてい}について

「【別紙2】令和6年度開催日程^{あん}（案）^{さんしやう}」を参照^{さんしやう}。

(2) 基幹相談支援センター^{きかんそうだんしえん}連絡会^{れんらくかい}の開催^{かいさい}について

○令和6年度^{れいわ ねんど}の開催^{かいさい}について

令和6年度^{れいわ ねんど}は報酬改定^{ほうしゅうかいてい}年度^{ねんど}のため、相談員向け^{そうだんいんむ}に報酬改定^{ほうしゅうかいてい}に関する説明会^{かん}を^{せつめいかい}基幹相談支援センター^{きかんそうだんしえん}連絡会^{れんらくかい}の場^ばを活用^{かつよう}して実施^{じっし}することが好ましい^{この}と考^{かんが}える。

そのため、第1回目^{だい かいめ}を早い時期^{はや}に開催^{じき}できる^{かいさい}よう調整^{ちようせい}を行^{おこな}っていく。

第2回目^{だい かいめ}については、上記^{じようき}のとおり、インターバル実習^{じっしゅう}の受け入れ^{うけいれ}等^{など}の課題^{かだい}について県内^{けんない}で色濃^{いろこ}くでていることから、基幹相談支援センター^{きかんそうだんしえん}での実施^{じっし}状^{じようきやう}況^{きやう}や、主任相談支援専門員^{しゅにんそうだんしえんせんもんいん}の受け入れ^{うけいれ}状^{じようきやう}況^{きやう}等^{など}、実践報告^{じっせんほうこく}を行^{おこな}えるといい^{かんが}と考^{かんが}える。また、アンケート^{けっか}の結果^{けっか}から、グループワーク^{じゆこうしゃ}については、受講者^{じゆこうしゃ}からも強^{つよ}く要望^{ようぼう}があるため、実施^{じっし}しやすい会^{かい}場^{じやう}を調整^{ちようせい}し、情報共有^{じようほうきやう}の場^ばを設^{もう}けてい^{もう}く。

かいさいについで
【開催日程イメージ】

かい 回	かいさいじき 開催時期	テーマ・内容（案）
だい かい 第1回	れいわ ねん どのしよじゆんころ 令和6年度初旬頃	しょうがいふくし などほうしゆうかいてい 障害福祉サービス等報酬改定について
だい かい 第2回	れいわ ねん がつころ 令和7年1月頃	じっせんほうこく OJTの実践報告

(3) 【令和6年度新規事業】ピアサポート研修の開催について（事業説明）

(4) 令和6年度障害福祉サービス等報酬改定について（概要資料の確認）

(5) 神奈川県相談支援専門員人材育成ビジョンの改定について

ア 改定作業のスケジュールについて

4月 ワーキンググループメンバーを選定。

5月

6月 令和6年度第1回研修企画部会にて途中経過報告。

7月 改定案を作成。

8月 県障害者自立支援協議会にて改定案を報告する。

イ 改定ワーキンググループのメンバー構成について

けんしゆうきかくぶかい せんしゆつ
【研修企画部会からの選出】

① 菊本氏（研修企画部会 座長）

② 吉田氏（研修企画部会 副座長）

③ 相模原市

④ 横須賀市

⑤八重樫氏（圏域ナビゲーションセンターの代表）

※横浜市、川崎市は、各市でビジョンを作成しているため、研修企画部会にて意見を伺っていく。

⇒改定案は、各市のビジョンとも整合性が取れ、同じ方向性を向いたものにしていく。

【研修企画部会外からの選出について（委員からの意見）】

前回の改定から、制度や、求められている機能等が大幅に変更となっていることから、下記メンバーを含めることで、より地域に届きやすいビジョンとなるとの意見が委員よりあった。

⑥KCN（圏域の相談支援従事者研修を実施しているため）

⑦学識経験者（大学の教授等）

⑧地域で活躍している計画相談に携わっている人

ウ 追加・修正項目（予定）について

- ・自立支援協議会の機能と役割について
- ・圏域ナビゲーションセンターの機能と役割について
- ・主任相談支援専門員の役割について
- ・基幹相談支援センターの機能と役割について
- ・相談支援員について
- ・OJTについて
- ・ピアサポーターについて

令和5年度相談支援従事者研修実施状況について

(別紙1)

1 相談支援従事者研修

	けんしゅうめい 研修名	かいさいかいすう 開催回数 (コース数) すう	ぼしゅうていいん 募集定員 合計 ごうけい	もうしこみしゃすう 申込者数 合計 ごうけい	じゅこうけつていすう 受講決定数 合計 ごうけい	しゅうりょうしゃすう 修了者数 合計 ごうけい	じっしにってい 実施日程
けんいき 県域	けんしゅう ブレ研修	3	150	188	188	176	①9月4日～5日 ②9月11日～12日 ③9月20日～21日
	しょにんしゃけんしゅう 初任者研修	3	150	191	191	177	①10月11日～12月8日 ②10月18日～12月14日 ③10月26日～12月22日
	げんにんけんしゅう 現任研修	2	200	233	182	175	①6月28日～8月29日 ②7月6日～9月7日
	しゅにんけんしゅう 主任研修	1	40	44	44	44	6月20日～7月13日
よこはまし 横浜市	けんしゅう ブレ研修	1	230	224	200	170	8月31日から9月8日
	しょにんしゃけんしゅう 初任者研修	1	144	202	144	134	11月9日から1月31日
	げんにんけんしゅう 現任研修	1	180	247	180	187	7月27日から9月28日
かわさきし 川崎市	けんしゅう ブレ研修	1	80	96	78	77	10月31日
	しょにんしゃけんしゅう 初任者研修	1	72	92	74	67	11月22日～1月31日
	げんにんけんしゅう 現任研修	1	72	80	73	69	7月27日～10月12日

2 専門コース別研修

けんしゅうめい 研修名	かいさいかいすう 開催回数 (コース数) すう	ぼしゅうていいん 募集定員 合計 ごうけい	もうしこみしゃすう 申込者数 合計 ごうけい	じゅこうけつていすう 受講決定数 合計 ごうけい	しゅうりょうしゃすう 修了者数 合計 ごうけい	じっしにってい 実施日程
ちいまいこう ていちゃくしえん 地域移行・定着支援	1	50	60	60	58	9月13日～14日
しょう じしえん 障がい児支援	1	50	12	12	12	1月21日～22日
いしけつていしえん 意思決定支援 (相談支援従事者分) そうだんしえんじゅうじしゃぶん	1	50	24	24	24	1月18日・19日・20日

令和6年度 相談支援従事者研修開催日程

(別紙2)

1 プレ研修

開催時期	受講料	コース	定員	会場	1日目	2日目
6月下旬頃	2,000	1コース	100	小田原合同庁舎	8月28日	8月26日
		2コース	100	藤沢市民会館	9月3日	9月4日
6月5日～7月10日		1コース	144	ウイリング横浜	映像配信	9月10日
		1コース			10月29日	映像配信
		2コース			10月29日	
		3コース			10月29日	

※ 県は、令和6年度より、プレ研修と初任者研修を併せたカリキュラムを実施していく。

2 初任者研修

開催時期	受講料	コース	定員	会場	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目
6月下旬頃	7,000	1コース	100	小田原合同庁舎	映像配信		10月16日	10月17日	11月13日	12月12日	12月13日
		2コース	100	厚木商工会議所			10月23日	10月24日	11月18日	12月25日	12月26日
6月5日～7月10日	12,000	1コース	144	ウイリング横浜 横浜産貿ホール			11月7日	11月8日	12月10日	1月29日	1月30日
		1コース	100	まごほさんぽう			11月19日	11月20日	12月26日	1月28日	1月29日

3 現任研修

開催時期	受講料	コース	定員	会場	1日目	2日目	3日目	4日目
4月中旬頃	5,000	1コース	100	小田原合同庁舎	映像配信		8月20日	9月17日
		2コース	100	厚木商工会議所			8月9日	9月5日
4月4日～5月16日	6,000	1コース	144	ウイリング横浜 横浜産貿ホール			8月27日	9月26日
		1コース	100	まごほさんぽう			9月19日	10月15日

3 主任相談支援専門員研修

開催時期	受講料	コース	定員	会場	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
4月中旬頃	8,500	1コース	40	労働文化センター	映像配信	6月24日	6月25日	7月22日	7月23日

基幹相談支援センター未設置市町村に係る調査結果について

【神奈川県 基幹相談支援センター 設置状況等】

1 各市町村の状況

令和6年2月現在

市町村名	設置状況				備考（設置予定（時期）等）
	設置	設置数	直営	委託	
横浜市	○	18		○	平成28年4月に設置。
川崎市	○	3		○	平成25年4月7区に全てに設置。 令和3年7月より3部に再編成。
相模原市	○	1		○	平成24年4月に設置。
横須賀市	○	1	○	○	令和3年4月直営で設置。 (令和5年4月より、一部業務委託。)
平塚市	○	1	○		令和6年1月直営で設置。
鎌倉市	○	1		○	平成28年7月に設置。
藤沢市	○	1		○	平成25年10月に設置。
小田原市	○	1		○	令和2年12月に設置。 (箱根町、真鶴町、湯河原町と共同設置)
茅ヶ崎市	○	1		○	令和5年10月に設置。
逗子市	○	1		○	平成26年4月に設置。
三浦市	○	1		○	令和4年4月に設置。
秦野市	○	1		○	平成24年4月に設置。
厚木市	○	1		○	平成27年10月に設置。
大和市	○	1		○	平成25年4月に設置。
伊勢原市	○	2	○	○	平成24年4月に設置。 (※令和元年10月より児童部分委託)
海老名市	○	1		○	令和5年6月に設置。
座間市	○	1		○	令和元年10月に設置。
南足柄市					設置について検討中。 自立支援協議会にて1市5町での 合同設置を検討している。
綾瀬市	○	1		○	平成29年10月に設置。
葉山町	○	1		○	令和2年4月に設置。
寒川町	○	1		○	令和2年10月に設置。
大磯町	○	1		○	平成24年4月に設置。
二宮町	○	1		○	平成30年4月に設置。
中井町					設置について検討中。 単独での設置は困難なため、合同設置の方向で 話し合いを進めている。圏域内だけではなく、 交通の便等を考慮し、秦野市や、二宮町等との 合同設置も検討している。
大井町					設置について検討中。
松田町	○	1	○		平成28年10月に設置。
山北町	○	1	○		令和4年3月に設置。
開成町					設置について検討中。 1市5町での合同設置を予定。
箱根町	○	小田原市で 計上		○	令和2年12月に設置。 (小田原市、真鶴町、湯河原町と共同設置)
真鶴町	○	小田原市で 計上		○	令和2年12月に設置。 (小田原市、箱根町、湯河原町と共同設置)
湯河原町	○	小田原市で 計上		○	令和2年12月に設置。 (小田原市、箱根町、真鶴町と共同設置)
愛川町					検討しているが具体的な予定なし。
清川村					設置について予定なし。
合計	27	44	5	24	※伊勢原市は者は直営、児は委託 ※小田原市、箱根町、真鶴町、湯河 原町の1市3町は共同設置 ※大磯町と二宮町は同一法人に個別 に委託

2 概要

設置済市町村	27 (24)
設置予定市町村	0 (3)
検討中市町村	4 (3)
設置予定無し市町村	2 (4)

※()は前回 (R4.7) 回答

3 設置率

82%